

ヨドバシ1000億円超に、ビックもグループで追走

1位のヨドバシカメラは売上高1000億円を突破した。全社売上高に占める割合も15%を超えており、同社の通販サイト「ヨドバシドットコム」は名実ともに旗艦店舗になったといえるだろう。

家電以外にも、書籍や日用品、食品などさまざまな商材を取り扱っており、アマゾンのような総合サイトとなっている。サービス面でも、購入額によらず送料無料、追加料金なしでも注文当日の配達、さらには同じく追加料金なしで最短2時間30分以内に届ける「ヨドバシエクストリーム」(東京23区などで実施)など、サービス面の充実は他社の追従を許さない。自社配送を実施しており、都内ではヨドバシドットコムの配送車やバイクを目にする機会が増加している。

2017年7月には大阪市の「ヨドバシ梅田」の店外に、ネットで注文した商品を店舗で受け取るサービスの専用ショップを試験的に開設した。主要駅近隣や商業施設など、顧客の利便性の高い立地への開設を進める予定としている。

2位上新電機(売上高は本紙推定)は、楽天市場やヤフー!ショッピングなどでの大賞の常連企業。ネット販売に関しては、前期も堅調に推移したとみられる。

6位ビックカメラは、子会社であるソフマップ、コジマと合算した売上高については、グループ合計で前期比約4.5%増の690億円だった。17年9月から、ビックカメラの倉庫からコジマ通販サイトの商品を出荷する体制となり、在庫数が大幅に増えたことから、コジマの売り上げが大きく伸びている。

8位のMOAは独立系としてはトップの売上高。仕入れ安定と品揃え強化が奏功し、ランキング掲載外となる直近の決算でも増収増益を達成した。

※: 本誌推定 ◎: P.25表の見方参照

順位	社名 サイト名	前期実績	
		PC+携帯売上高 (百万円)	増減率 (%)
1	ヨドバシカメラ ヨドバシ.com	108,000	8.8
2	上新電機 Joshin インターネットショッピング	※ 55,000	—
3	デル DELL	※ 50,000	—
4	ジャパネットたかた ジャパネットセンカ	※ 49,840	—
5	◎ キタムラ カメラのキタムラ	40,478	▲ 3.4
6	ビックカメラ ビックカメラ.com	35,000	0.6
7	◎ マウスコンピューター	32,615	13.1
8	◎ MOA A-PRICE	28,935	14.6
9	ビュアクリエイト アーチホールセール	※ 25,000	7.3
10	エディオン	※ 22,000	—

家電市場全体をみると、家電メーカーが以前よりも商品の生産数を絞っているため、家電量販店からの事実上の「横流し」によってブローカーなどに流れる品数が減少。これまで、家電のネット販売専門はメーカー販売会社経由の正規ルート以外から商品を仕入れることで、大手家電量販店の通販サイトよりも安い価格で販売、売り上げを伸ばしてきた。しかし、こうした事情から近年は仕入れに苦戦する企業も少なくないようだ。

PC・家電のEC市場 私はこう見る MOA 池田達彦執行役員管理本部長

これまで以上の競争激化と市場再編進む

直近の業績については、2017年6月期の売上高は323億円となり、過去最高の数字です。これは仕入れがさらに安定したことが大きい。メーカー・商社・問屋との取引拡大、関係強化が進んでいます。また、コールセンター拡充によるよりハイタッチなサービス提供も寄与できています。品揃えでは、家電以外のジャンル、酒や食品、雑貨などの取り扱いを強化。家電は買い替えまでのサイクルが長いことから、定期的にサイトに来訪してもらうためにも、これらの商品は重要です。今後はプライベートブランド(PB)家電「マクスゼン」シリーズと旅行・宿泊事業も強化しており、売上高は500億円を見据えています。

市場動向については、家電市場全体の規模は縮小傾向ですが、ネット販売への移行は引き続き進行しています。より競争の激化と市場の再編が進むと考えられます。弊社もハイタッチなサービスやPBを核にブランディングに取り組み更なる成長を目指します。

家電量販店のネット販売については、ヨドバシカメラが充実したサービスはもちろん、サイトは分かりやすく使いやすく見習うべき点は多いと思います。当社でもサイト改善に引き続き取り組んでいます。

